

発達障害のある児童生徒の個別指導プログラムの作成・実施・評価・改善

1 趣旨（概要）

発達障害のある児童生徒の認知特性や実態把握の方法について理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた個別指導プログラムを作り、教材作成、指導方法等の実践的知識を習得する。

2 開催日時

平成 26 年 7 月 20 日(日) 8:30～17:30 (8:00 受付開始)

平成 26 年 7 月 21 日(月) 8:30～16:30 (8:10 受付開始)

【フォローアップ研修】

平成 26 年 12 月 25 日(木) 9:30～16:30 (9:00 受付開始)

3 会場

広島大学教育学部（受付：C棟203教室）

（〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1）

C棟 203教室, 307教室, 402教室, 629教室, 701室, L棟 202教室

フォローアップ研修 C棟 203教室, L棟 202教室

4 対象（定員 30 名）

現職の小学校、中学校、高等学校、中等学校の教諭、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー等

5 日程・内容

講義内容の詳細は、以下の通りです。フォローアップ研修の詳細については、後日配布します。

研 修 内 容		
発達障害のある児童生徒の認知特性や実態把握の方法について理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた個別指導プログラムを作り、教材作成、指導方法等の実践的知識を習得する。		
〈一日目〉	8:30-8:40	オリエンテーション
	講義 (8:40-10:10)	発達障害児の認知特性と対象児童についての情報提供： 発達障害児の認知特性について解説し、実習協力児童の実態把握の結果や日常場面の様子に関する情報提供を行います。
	演習 (10:20-11:50)	学習課題の検討・作成： 前時の講義内容や児童に関する情報を基に各グループで協議を行い、学習課題の検討・作成や学習環境の準備を行います。
	実習 (12:40-15:40)	学習課題の実習： 協力児童に対して学習課題を実施し、その結果に基づいて修正した課題を実施・評価します。また、保護者からの聞き取りを行います。
	演習 (15:50-17:20)	グループ・全体協議： 学習課題の内容、指導方法、場面設定などに関してグループで討議を行い、その結果を全体会で報告して協議を行います。

二 日 目	講義 (8:40-10:10)	コミュニケーション, 家事・身辺自立課題について: コミュニケーション, 家事・身辺自立課題の設定や指導環境の準備等について講義します。
	演習 (10:20-11:50)	コミュニケーション, 家事・身辺自立課題の検討・作成: 前時の講義内容や児童に関する情報を基に各グループで協議を行い, 課題の検討・作成や学習環境の準備を行います。
	実習 (12:40-15:40)	コミュニケーション, 家事・身辺自立課題の実習: 協力児童に対してコミュニケーション課題を実施し, 修正した課題の再実施・評価を行います。また, 家事・身辺自立課題についても同様に実施します。
	講義 (15:50-16:30)	発達障害児の指導について: 本講義全体の経過を踏まえて, 課題の内容, 指導方法, 場面設定などに関するまとめの講義を行います。

6. 講師

若松 昭彦 (広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座 教授)

7. 研修協力者

古田 寿子 (元小学校特別支援学級教員・

広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター教育相談員)

廣澤 清子 (同上)

8 その他, 問い合わせ先

○昼食は各自でご用意ください。

○お車でお越しの際には, 広島大学構内の駐車場 (無料) をご利用ください。

○研修内容や運営の改善, および事業報告書の一部に使用するために, 研修の様子を撮影します。
予めご了承ください。

○この研修についてのお問い合わせは, 下記へお願いします。

【問合せ先】

広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 TEL 082-424-7172

E-mail: awakama@hiroshima-u.ac.jp (担当: 若松 昭彦)

発達障害のある児童生徒の ICT 活用による支援 I・II

1 趣旨 (概要)

発達障害児童生徒が抱える学習及び生活上の困難に応じた調整を行う上で、ICT 活用は効果的な選択肢の一つである。本講座では、ICT 特にタブレット端末に着目し、導入の際の基本的な考え方や留意点、実際の扱い方、授業での応用、実践報告を実施することで、現職教員が発達障害及び近接障害領域の教育における ICT 活用に必要な知識と技能を身につける事をねらいとしている。

2 開催日時

平成 25 年 8 月 12 日(火) 9:00～18:20 (8:30 受付開始)

12 月 23 日(火) 9:00～18:20 (8:30 受付開始)

※ 2 回を通して受講することが望ましい。

3 会場

広島大学教育学部 L棟204教室

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

4 対象 (定員 I : 現職 (30 名) + 学生 (20 名) II : 現職 (30 名) + 学生 (20 名))

小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校等の教員, 学習支援員

定員を超える場合は, お断りをする場合もございますので, ご了承ください。

5 日程・内容

8 月 12 日(火)

日程	講義等	内容	講師等
9:00～9:20		オリエンテーション	氏間 和仁 (広島大学)
9:20～10:30	講義	タブレット端末の導入に向けて	平林 ルミ (東京大学先端科学技術研究センター)
10:40～12:10	講義	タブレット端末の活用事例	平林 ルミ
13:30～15:00	演習	タブレット端末操作演習「基本操作」 アプリの探し方・サイトの使い方	平林 ルミ・氏間 和仁・林田 真志 (広島大学)
15:10～16:40	演習	タブレット端末操作演習「ソフト操作」	平林・氏間・林田
16:50～18:20	演習	授業実践テーマ立案	平林・氏間・林田

12 月 23 日(火)

日程	講義等	内容	講師等
9:00～10:30	講義	学校での ICT 導入の設備・設定	高松 崇 (NPO 法人支援機器普及促進協会)
10:40～12:10	講義	特別支援教育での ICT 導入例	高松 崇
13:30～15:00	演習	ワークショップ「実践事例討議 1」	平林・高松・氏間・林田
15:10～16:40	演習	ワークショップ「実践事例討議 2」	平林・高松・氏間・林田
16:50～18:20		実践総括	平林・高松・氏間・林田

6 その他, 問い合わせ先

- 昼食は各自でご用意ください。
- カメラ付の iPad または iPad mini を準備できる方はご持参ください。
- お車でお越しの際には, 広島大学構内の駐車場 (無料) をご利用ください。
- 研修内容や運営の改善, および事業報告書の一部に使用するために, 研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- この研修についてのお問い合わせは, 下記へお願いします。

【問合せ先】

広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 TEL & FAX: 082-424-7174

E-mail: ict@ujilab.hiroshima-u.ac.jp (担当: 氏間・林田)

発達障害のある児童生徒の保護者支援に関するワークショップ

1 趣旨（概要）

特別支援教育を推進していくためには、発達障害のある児童生徒の保護者との連携が重要であると考えられる。保護者と教師がよりよく協働するためのヒントを、講演や協議を通じて学ぶ。

2 開催日時

平成 26 年 8 月 19 日（火） 9:00～16:40（8:30 受付開始）（計 6 時間 40 分）

3 会場

広島大学教育学部 K108 講義室

4 対象（定員 60 名）

小学校，中学校，高等学校，特別支援学校等の教員，学習支援員等
定員を大幅に超える場合は，お断りをする場合もありますので，ご了承ください。

5 日程・内容

8:30～ 9:00 受付（K108 講義室前）

9:00～ 9:15 開会行事

9:15～10:30 保護者との連携に関する基礎的講義（若松昭彦 広島大学大学院教育学研究科）

10:30～10:40 休憩

10:40～11:40 保護者との連携に関する実践的講義（古田寿子 広島自閉症治療教育・支援研究会代表）

11:40～12:40 休憩

12:40～14:30 受講者からの質問に答えて（古田寿子）
（保護者）

14:30～14:40 休憩

14:40～16:30 グループ協議・全体協議

16:30～16:40 閉会行事

※ プログラムを変更することがあります。

6 その他，問い合わせ先

○昼食は各自でご用意ください。

○お車でお越しの際には，広島大学構内の駐車場（無料）をご利用ください。

○研修内容や運営の改善，および事業報告書の一部に使用するために，研修の様子を撮影します。
予めご了承ください。

○この研修についてのお問い合わせは，下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 若松昭彦

電話 082-424-7172 FAX 082-424-7180

E-mail awakama@hiroshima-u.ac.jp

発達障害のある児童生徒のキャリア発達を促す教育

1 趣旨（概要）

発達障害のある児童生徒のキャリア教育や就労支援に関して、現状と課題、学校教育の在り方や就労支援の基本的な考え方等を学ぶ。

2 開催日時

平成 26 年 9 月 19 日（金） 9:00～16:30（8:30 受付開始）（計 6 時間 30 分）

3 会場

広島大学学士会館レセプションホール
（〒739-0046 東広島市鏡山 1-2-2）

4 対象（定員 100 名）

小学校，中学校，高等学校，特別支援学校等の教員，学習支援員等
定員を大幅に超える場合は，お断りをする場合もありますので，ご了承ください。

5 日程・内容

日程	講義等	内容	講師等
8:30～ 9:00	受付		
9:00～ 9:10		オリエンテーション	広島大学 准教授 竹林地 毅
9:10～10:40	講義	発達障害のある人のキャリア教育の現状と課題（仮）	宇都宮大学 教授 梅永雄二
10:55～12:25	講義	発達障害のある人の就労支援の現状と課題（仮）	広島県発達障害者支援センター所長 西村 浩二
13:25～14:55	報告	発達障害の児童生徒のキャリア教育の実践（仮）	東京都立足立東高等学校 主任教諭 渡邊 麻美
15:10～16:00	協議	発達障害のある児童生徒のキャリア教育の在り方	広島大学 准教授 竹林地 毅
16:00～16:30		まとめ	宇都宮大学 教授 梅永雄二 広島県発達障害者支援センター所長 西村 浩二

6 その他，問い合わせ先

- 昼食は各自でご用意ください。
- お車でお越しの際には，広島大学構内の駐車場（無料）をご利用ください。
- 研修内容や運営の改善，および事業報告書の一部に使用するために，研修の様子を撮影します。
予めご了承ください。
- この研修についてのお問い合わせは，下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 竹林地 毅

電話 082-424-7178 FAX 082-424-7180

E-mail chikurin@hiroshima-u.ac.jp

発達障害のある児童生徒の在籍する学級の集団づくり

1 趣旨（概要）

特別支援教育を推進していくためには、発達障害のある児童生徒を包含する学級経営力が必要不可欠であると考えられる。特別活動における話し合い活動やリーダーの育成などを通じた学級集団づくりについて、演習・協議を交えながら実践的に学ぶ。

2 開催日時

平成 26 年 9 月 30 日（火）9:00～16:40（8:30 受付開始）

平成 26 年 12 月 26 日（金）9:00～16:40（8:30 受付開始）（9 月 30 日のフォローアップ研修）

3 会場

広島大学教育学部 L205, C203, L204

4 対象（定員 100 名）

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等

定員を大幅に超える場合は、お断りをする場合もありますので、ご了承ください。

5 日程・内容

《9 月 30 日》

8:30～ 9:00 受付（L205 講義室前）

9:00～ 9:15 開会行事

9:15～12:15 学級集団づくりについての講義 1（赤坂真二 上越教育大学大学院）

12:15～13:15 休憩

13:15～14:45 学級集団づくりについての講義 2（赤坂真二 上越教育大学大学院）

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 インクルーシブ教育についての講義（若松昭彦 広島大学大学院教育学研究科）

16:30～16:40 閉会行事

《12 月 26 日》（フォローアップ研修）

8:30～ 9:00 受付（L204 講義室前）

9:00～ 9:15 開会行事

9:15～12:00 学級集団づくりについての講義・演習（池田隆 広島県立教育センター指導主事）

12:00～13:00 休憩

13:00～14:30 グループ協議 ～実践報告会～

14:30～14:40 休憩

14:40～16:30 全体協議・質疑応答

※ プログラムを変更することがあります。

16:30～16:40 閉会行事

※ 9 月 30 日と 12 月 26 日の連続参加が望ましい。

6 その他、問い合わせ先

○昼食は各自でご用意ください。

○お車でお越しの際には、広島大学構内の駐車場（無料）をご利用ください。

○研修内容や運営の改善、および事業報告書の一部に使用するために、研修の様子を撮影します。

予めご了承ください。

○問い合わせ 〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 若松昭彦

電話 082-424-7172 FAX 082-424-7180 E-mail awakama@hiroshima-u.ac.jp

「発達障害のある児童生徒の在籍する学級の集団づくり」研修会

講師の紹介

◆上越教育大学学校教育専攻科 教育実践高度化専攻（教職大学院）

教育実践リーダーコース・学校運営リーダーコース

准教授 赤坂真二 先生

◆プロフィール（上越教育大学 HP より抜粋）

新潟県内の公立小学校に19年間勤務。2008年4月より上越教育大学に着任。小学校教員の頃より、子どもの意欲を高める学級づくり、授業づくりについて全国各地のセミナーで発信してきた。現在も、教員養成にかかわる一方で研修会やPTAの学習会で講演を行う。年間講演回数は、100を超える。

著書「小学校高学年女子の指導困ったときの処方箋」（2005）、「友だちを「傷つけない言葉」の指導 温かい言葉かけの授業と学級づくり」（2008）（以上、学陽書房）、「“荒れ”への「予防」と「治療」のコツ 学級づくりの基礎・基本」（2008）（日本標準）、「小学生の問題行動こうすれば大丈夫 朝の会から放課後まで」（2008）（学事出版）、「自立論 子どものやる気を引き出す親になる」（2009）（新潟日報事業社）、「先生のためのアドラー心理学 勇気づけの学級づくり」（2009）、「教室に安心感をつくる 勇気づけの学級づくり2」（2010）（以上、ほんの森出版）、「「気になる子」のいるクラスがまとまる方法」（2010）（学陽書房）、「スペシャリスト直伝 学級成功の極意」（2011）（明治図書）、「ほめる叱る 教師の考え方と技術」（2013）（ほんの森出版）、「スペシャリスト直伝 学級を最高のチームにする極意」（2012）（明治図書）他



広島大学大学院教育学研究科 若松昭彦よ
り
赤坂先生は、学級づくりのスペシャリスト。自治的な集団をつくり、実り多い授業につなげる学級経営学について幅広い知識と確かな実践力をお持ちの先生です。広島県内でお話を聞ける機会
は、めったにないと思います。

◆おすすめの著書



保護者等関係者の連携・協力を促進するためのファシリテーションスキル（ワークショップ）Ⅰ・Ⅱ

1 趣旨（概要）

学校内での協働，学校教育関係者と関係機関の連携・協力を実現し，創造的な問題の解決を組織的に進めて行くための考え方や関係者のスキル等について演習を通じて学ぶ。

※Ⅰ：基礎編 Ⅱ：応用・発展編（Ⅰの受講者及び昨年度の受講者対象）

2 開催日時

Ⅰ 平成26年11月8日（土）10:30～16:30（10:00 受付開始）（計5時間）

Ⅱ 平成26年12月20日（土）10:30～16:30（10:00 受付開始）（計5時間）

3 会場

広島大学中央図書館ライブラリーホール
（〒739-8524 東広島市鏡山1-2-2）

4 対象（定員60名）

小学校，中学校，高等学校，特別支援学校等の教員，学習支援員等

定員を大幅に超える場合は，お断りをする場合もありますので，ご了承ください。

5 日程・内容

11月8日（土）

日程	講義, 演習等	内容	講師等
10:00～10:30	受付		
10:30～10:40		オリエンテーション	広島大学 准教授 竹林地 毅
10:40～12:00	演習	場のデザインのスキル	広島大学 准教授 竹林地 毅 及び学生
13:00～14:30	演習	構造化のスキル	広島大学 准教授 竹林地 毅 及び学生
14:50～16:20	演習	合意形成のスキル	広島大学 准教授 竹林地 毅 及び学生
16:20～16:30	協議	まとめ	広島大学 准教授 竹林地 毅

12月20日(土)

日程	講義, 演習等	内容	講師等
10:00~10:30	受付		
10:30~10:40		オリエンテーション	広島大学 准教授 竹林地 毅
10:40:12:00	演習	プロセスを見るワーク	星槎大学 教授 三田地 真実
13:00~14:30	演習	学校の事例	星槎大学 教授 三田地 真実 広島大学 准教授 竹林地 毅
14:50~16:20	演習	職場の事例	星槎大学 教授 三田地 真実 広島大学 准教授 竹林地 毅
16:20~16:30	協議	まとめ	広島大学 准教授 竹林地 毅

6 その他, 問い合わせ先

- 昼食は各自でご用意ください。
- お車でお越しの際には, 広島大学構内の駐車場(無料)をご利用ください。
- 研修内容や運営の改善, および事業報告書の一部に使用するために, 研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- この研修についてのお問い合わせは, 下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 竹林地 毅

電話 082-424-7178 FAX 082-424-7180

E-mail chikurin@hiroshima-u.ac.jp

すべての子どもが分かる喜びを実感できる教科の授業づくり I

(算数科・家庭科)

1 趣旨(概要)

「どの児童生徒にとってもあると便利な支援」「発達障害のある児童生徒になくしてはならない支援」という視点から、通常の学級において児童生徒が分かる喜びを実感できる、家庭科・算数科の授業づくりの基本的な考え方やポイントなどについて、実践的に理解を深めます。

2 開催日時

平成26年12月 6日(土) 9:00(受付開始:8:30)～ 15:00

3 会場

広島大学教育学部 L棟204教室(受付:教育学部正面玄関内側)

4 対象と定員

対象は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等の方、40名です。さらに、広島大学学生約20名が加わり、合計60名を予定しています。

定員を超える場合は、お断りをする場合もございますので、ご了承ください。

5 日程・内容

【午前の部:特別支援教育・算数科】

日 程	講義, 演習等	内 容	講 師 等
8:30～9:00		受 付(教育学部正面玄関)	
9:00～9:10		オリエンテーション	
9:10～10:00	講義	特別支援教育の動向—インクルーシブ教育システムの構築にむけて—	広島大学教育学研究科教授 川合 紀宗
10:00—10:10 (小休憩)10分	質疑		
10:20～10:40	話題提供	今、算数科の指導に求められていること	広島大学教育学研究科教授 植田 敦三
10:40～11:30	実践報告	「分かる」「できる」実感が伴う算数科の授業づくり(仮)	東広島市立御園宇小学校教諭 新迫 健司
11:30～12:20	討議	ふたたび、今、算数科の指導に求められていることを考える	植田敦三・新迫健司 (参加者との質疑および討議)
12:20—12:30	総括		広島大学教育学研究科准教授 谷本 忠明

(昼食・休憩)

【午後の部：家庭科】

日 程	講義, 演習等	内 容	講 師 等
13:30～13:40	話題提供	コーディネーター 今、家庭科の指導に求められていること	広島市立落合東小学校教諭 内海 みさ 広島大学教育学研究科教授 伊藤 圭子
13:45～14:15	実践報告	「分かる」「できる」家庭科の授業づくり (小学校)	広島市立久地南小学校 三宅 比佐
14:15～14:45	実践報告	「分かる」「できる」家庭科の授業づくり (中学校)	三次市立十日市中学校 葉原 知恵
14:45～15:00	総括	(質疑応答も含む)	広島大学教育学研究科教授 川合 紀宗

6 その他, 問い合わせ先

○昼食は各自でご用意ください。

○お車でお越しの際には, 広島大学構内の駐車場 (無料) をご利用ください。

○研修内容や運営の改善, および事業報告書の一部に使用するために, 研修の様子を撮影します。予めご了承ください。

○この研修についてのお問い合わせは, 下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 牟田口辰己

電話 082-424-7171 FAX 082-424-7180

E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp

すべての子どもが分かる喜びを実感できる教科の授業づくり II

(音楽科・国語科)

1 趣旨(概要)

「どの児童生徒にとってもあると便利な支援」「発達障害のある児童生徒になくしてはならない支援」という視点から、通常の学級において児童生徒が分かる喜びを実感できる、音楽科・国語科の授業づくりの基本的な考え方やポイントなどについて、実践的に理解を深めます。

2 開催日時

平成26年12月 7日(日) 9:30(受付開始:9:00) ~ 16:30

3 会場

広島大学教育学部 G棟205教室(音楽室), L棟204教室

4 対象と定員

対象は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等の方、40名です。さらに、広島大学学生約20名が加わり、合計60名を予定しています。

定員を超える場合は、お断りをする場合もございますので、ご了承ください。

5 日程・内容

【音楽科 G棟205教室(音楽室)】

日 程	講義, 演習等	内 容	講 師 等
9:00~ 9:30		受 付 オリエンテーション	
9:30~11:00	ワークショップ	小学校における, 体の動きを通した, 分かる喜びを実感できる音楽科の授業づくり	筑波大学附属小学校教諭 高倉 弘光
11:00~12:30	研究討議		広島大学教育学研究科教授 権藤 敦子

(昼食・休憩)

【国語科 L棟204教室】

日 程	講義, 演習等	内 容	講 師 等
13:30～14:00	はじめに	問題提起	広島大学教育学研究科教授 難波 博孝
14:00～15:00	模擬授業・ ワークショップ	分かる喜びを実感できる国 語科の授業づくり	筑紫女学園大学准教授 稲田 八穂
15:15～16:00	話題提供	特別な配慮が必要な学習者 に対する授業の基本	福岡女学院大学講師 原田 大介
16:00～16:30	総括		

6 その他, 問い合わせ先

○昼食は各自でご用意ください。

○お車でお越しの際には, 広島大学構内の駐車場(無料)をご利用ください。

○研修内容や運営の改善, および事業報告書の一部に使用するために, 研修の様子を撮影します。予めご了承ください。

○この研修についてのお問い合わせは, 下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 牟田口辰己

電話 082-424-7171 FAX 082-424-7180

E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp

発達障害のある児童生徒の読み書きの指導

日米シンポジウム

1 趣旨（概要）

知識基盤社会の到来や、グローバル化の進展など急速に社会が変化する中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質が一層求められています。一方、近年の国内外の学力調査の結果などから、日本の子どもたちには思考力・判断力・表現力等に課題がみられます。こうした課題は発達障害のある児童生徒にとってより顕著な課題であり、言語活動の充実を図るには、言語力に課題のある児童生徒の学力の底上げを行いつつ、児童生徒による教科間を連携させた多様な学びが求められます。そこで本シンポジウムでは、言語活動の充実を図るため、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何ができるか、国内外における最新の知見や先進的な実践例を基に考えます。

2 開催日時

- I：東京会場：12月13日（土） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）
II：広島会場：12月14日（日） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）

3 会場

- I：広島大学東京オフィス国際会議室 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター（CIC）1階
II：広島JA会館 講堂 広島市中区大手町4丁目7-3

4 対象と定員

対象は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等の方です。
定員（先着順）は以下の通りです。

- I：東京会場：12月13日（土） 100人
II：広島会場：12月14日（日） 300人

5 日程・内容

日 程	講義、演習等	内 容	講 師 等
9：30～9：40		挨拶・概要説明等 (挨拶は広島会場のみ)	宮谷 真人 広島大学大学院教育学研究科長 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授
9：40～11：40	講義	読字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
11：40～12：40	昼食		

12:40～14:40 (休憩10分)	講義	書字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
14:50～16:00 (休憩10分)	講義	日本人の読み書き障害の特性(仮題)	宇野 彰 筑波大学人間系教授
16:10～17:00	実践発表	読み書き障害のある児童への支援のあり方(仮題)	中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭
17:00～17:30	ディスカッション	読み書きに困難がある児童生徒へのエビデンスに基づく支援のあり方について(仮題)	Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University 宇野 彰 筑波大学人間系教授 中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授

※ 実践発表者以外、両日とも同じ内容となります。

6 その他、問い合わせ先

- 両日とも通訳がつきます。
- 宿泊および昼食は各自でご用意ください。
- 研修内容や運営の改善、および事業報告書の一部に使用するために、研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- この研修についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 牟田口辰己

電話 082-424-7171 FAX 082-424-7174

E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp